

下 監 第 1 号
令和 2 年 2 月 10 日

下田市長 福井祐輔様

下田市監査委員 鈴木貞雄
下田市監査委員 大川敏雄

令和元年度定期監査(学校監査)結果報告書

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

第1 監査の対象

下田中学校、稲梓中学校、稲生沢中学校、下田東中学校

第2 監査の期間

令和元年11月19日から令和元年11月29日まで

第3 監査の範囲

平成31年4月1日から令和元年10月31日までの予算及び事務事業の執行状況

第4 監査の方法

事前審査及び現地調査を行った上で、学校長及び関係職員から予算及び事務事業の執行状況並びに施設の維持管理、防災・安全対策等について説明を聴取した。

第5 監査の結果

予算及び事務事業はおおむね適正に執行されていると認めたが、一部について改善及び検討を促した。監査結果の概要は、次のとおりである。

1 各校の概要

(1) 児童数、学級数

(単位:人、学級)

学校名	区分	1年生	2年生	3年生	特別支援学級	合計
下田中学校	学級数	2	3	2	1	8
	児童数	67	82	57	6	212
稲梓中学校	学級数	1	1	1	-	3
	児童数	9	19	14	-	42
稲生沢中学校	学級数	2	2	2	-	6
	児童数	22	28	36	-	86
下田東中学校	学級数	1	1	1	-	3
	児童数	33	28	35	-	96

(2) 教職員数

(単位:人)

学校名	職員数	うち、市費職員	摘要
下田中学校	28	4	支援員2、用務員1、臨時事務職員
稲梓中学校	16	2	支援員1、用務員1
稲生沢中学校	19	3	支援員2、用務員1
下田東中学校	18	3	支援員2、用務員1

2 予算の執行状況(令和元年10月末まで)

(単位:円、%)

学校名	中学校管理事業			中学校教育振興事業		
	予算現額	支出済額	執行率	予算現額	支出済額	執行率
下田中学校	3,270,000	2,021,037	61.8	1,458,000	1,229,675	84.3
稲梓中学校	2,108,000	1,321,053	62.7	1,180,000	592,447	50.2
稲生沢中学校	2,697,000	760,326	28.2	968,000	440,417	45.5
下田東中学校	2,559,483	1,737,784	67.9	671,000	248,500	37.0

3 備品等管理状況

(1) 郵券の管理

受払簿と現物の照合をした結果、おおむね適正に管理されていた。

(2) 備品の管理

備品は、毎年度定期的に教職員が備品点検簿をもとに点検作業を実施していた。実施に際しては、職員で分担し、統一した備品管理の体制が整えられていた。

(3) 理科薬品の管理

薬品保管庫の施錠は適正に行われていたが、薬品庫管理簿と毒劇物管理使用簿の使用量や残量が合わない学校が見受けられた。

毒物・劇物であることを再認識し、所属長立合いのもと棚卸しを実施し、児童に危険が及ばないように細心の注意を払われない。

また、教育委員会は文部科学省の通達に沿って各校と連携し、薬品管理簿の整備、定期棚卸、不要な薬品の廃棄の実施に努められたい。

4 施設の維持管理

(1) 施設や敷地内で緊急を要する簡易な修繕については、その都度学校教育課により迅速な対応がとられていた。

しかし、雨漏りや天井の腐食、外壁のひび等、施設の躯体部分に未修繕箇所が多く見受けられた。事故の未然防止と生徒の安全確保等のため、早急に対応を検討されたい。

5 防災・安全対策

(1) 災害発生時における生徒の安全確保の観点から、各校で防災計画を策定し、地震、火災、生徒の引渡し等のケースを想定して防災訓練を実施していた。

- (2) 防災設備について、避難経路図で消火栓や消火器の設置箇所を明示し、緊急時に備えていた。

6 学校徴収金

学校徴収金は公金ではないが、現金を扱うものであること、またその性質上、準公金にあたるとして監査の対象とした。

- (1) 学校徴収金は「下田市立小・中学校徴収金取扱基準」に基づいて処理がなされ、会計簿と通帳を確認した結果、おおむね適正に処理されていた。
- (2) 学年費の会計処理については、賀茂地区で統一システムを導入し、各校の事務の共通化が図られていた。

7 その他要望事項

中学校統廃合を控えているところであるが、老朽化した学校施設の整備、修繕については子どもの安心・安全を最優先し、施設の老朽化対策、設備や備品の予算措置は、必要に応じ適切な対応を講じられたい。